

# 平成19年3月期 中間決算説明会

平成18年11月17日

平成18年4月－平成18年9月

## ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

# Contents



1. 19年3月期中間期の概況
2. 計測・計量機器事業 実績-1
3. 計測・計量機器事業 実績-2
4. DSP事業の業績について
5. DSP事業について-1
6. DSP事業について-2
7. 医療・健康機器事業 実績-1
8. 医療・健康機器事業 実績-2
9. 家庭用血圧計について-1
10. 家庭用血圧計について-2
11. 財務分析(貸借対照表)
12. 財務分析(キャッシュフロー)
13. 設備投資・減価償却費の推移
14. 為替の影響について
15. 19年3月期通期見通し
16. 計測・計量機器事業 見通し-1
17. 計測・計量機器事業 見通し-2
18. 医療・健康機器事業 見通し-1
19. 医療・健康機器事業 見通し-2
20. 補足資料

# 19年3月期中間期の概況



(単位：百万円)

連 結 損 益	18 / 3 期 中 間 実 績	19 / 3 期 中 間 実 績	前 期 年 比	19 / 3 期 中 間 予 想 10/17付	予 想 比
売 上 高	13,651	14,687	+7.6%	14,687	0.0%
売 上 原 価	7,706	7,921	+2.8%	7,962	-0.5%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	4,659	5,892	+26.5%	5,843	+0.8%
営 業 利 益	1,286	874	-32.0%	882	-0.9%
経 常 利 益	1,168	879	-24.7%	902	-2.5%
税 引 き 前 利 益	1,157	884	-23.6%	895	-1.2%
当 期 純 利 益	717	606	-15.5%	591	+2.5%

(注) 19年3月期中間期予想は、10月17日付の「業績予想の修正について」にて発表した予想であります。

# 計測・計量機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		18/3期 中間実績	19/3期 中間実績	前 同 期 比	19/3期 中間予想	予 想 比
計測・計量機器事業	売上高	8,611	9,668	+12.3%	10,321	-6.3%
	売上原価	4,942	5,424	+9.8%	6,002	-9.6%
	販管費	2,728	3,446	+26.3%	3,332	+3.4%
	営業利益	941	797	-15.3%	986	-19.2%

## 業績のポイント

1. DSP事業が大幅に伸長して既存事業も堅調に推移

⇒売上高前期比12.3%の増加

2. DSP事業において、ADTとの技術統合の効果がまだ発現しておらず、経費先行の状況

⇒販管費が大幅に増加し、営業利益は実績・予想ともに下回る

(注) 19年3月期中間期予想は、5月17日付の「平成18年度3月期決算短信（連結）」にて発表した予想であります（以下同じ）。

# 計測・計量機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製品種別	18 / 3 期中間実績	19 / 3 期中間実績	前年同 期 比	19 / 3 期中間予想	予 想 比
計測機器	917	818	-10.8%	796	+2.8%
計量機器	5,171	5,426	+4.9%	5,483	-1.0%
計測・制御・シミュレーションシステム (DSP)	1,236	2,056	+66.3%	2,652	-22.5%
電子ビーム関連ユニット	1,287	1,367	+6.2%	1,390	-1.7%
売上合計	8,611	9,668	+12.3%	10,321	-6.3%

計測機器

：物性・摩擦磨耗試験機が好調だが、引張試験機が不調

計量機器

：インジケータ・ロードセル等が好調

DSP

：ADTとの技術統合の効果がまだ発現しておらず、当社及びADTともに効果発現はこれからの状況

電子ビーム関連ユニット：受注堅調でほぼ予算通りの着地

# DSP事業の業績について



(単位：百万円)

	用途種別	17/3期 (実績)		18/3期 (実績)		19/3期 (実績)
		上期	下期	上期	下期	上期
新規事業	自動車関連	436	858	964	1,595	1,803
	試験機関連	119	388	63	80	42
	その他	113	5	209	1,672	211
	小計	668	1,252	1,236	3,347	2,056
既存事業への DSP技術 応用	特殊試験機関連	18	182	186	162	144
	計量制御関連	36	60	42	49	53
	医療機器					
	小計	55	241	228	211	197
合計		723	1,493	1,464	3,558	2,253
売上合計 (通期)		2,216		5,022		

新規事業分野においては、前期との比較ではADTの寄与もあり増加。しかし、技術の統合効果が出るのはこれからであり、今後更なる成長を目指す。DSP応用の分野では、計量システム等の市場開拓に努め引合は増えているが、上期は厳しい結果となった。

# DSP事業についてー1



## I A V社との業務提携について

A & D (ツールメーカーとして様々な開発ツールを提供)

去年の北米に引き続き、欧州での本格進出が可能に

エンジンテストベンチの分野において協業する  
事で合意 (今年9月)



異なった得意分野を持つ両社の技術的な協力により、自動車メーカーにとって大きな負荷となっている「適合」という工程を効率化し、コスト低減するための世界標準ツールの提供を目指す



今年9月開催の共同セミナーの様子 (90名以上が参加)

I A V社 (自動車産業において先導的な立場にある開発・設計のエンジニアリング会社)

日本において顧客の開拓を進める予定



## IAV社と開発する新しい適合ツール（ORION）について

### 1. 適合とは

ECU開発プロセスで、ECUがエンジンや変速機などの制御を最適に行うためにECUの設定作業（チューニング）を行うこと。

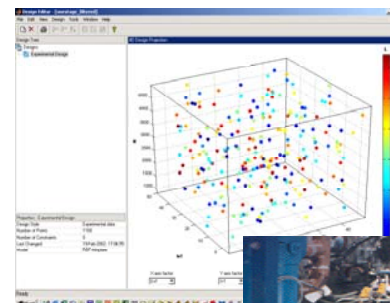
### 2. ORIONの特徴

- ①IAVと協同開発を行う事により、実績が豊富なIAVの持つノウハウを取り入れる事が可能
- ②オープン仕様となっており、他のシステムとの接続が可能であり、またユーザーが計測アルゴリズムの作成等のカスタマイズを行う事が可能

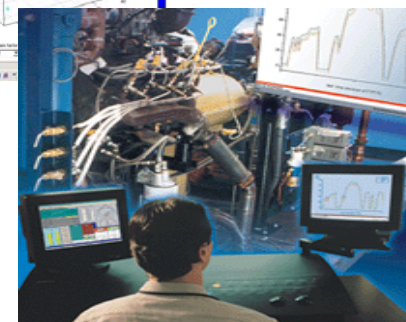
⇒他社には無い発想

- ③適合プロセス全体の効率化を図る事が可能

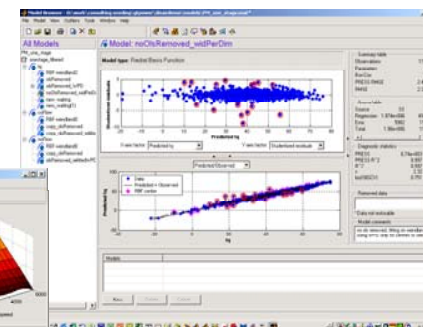
実験計画



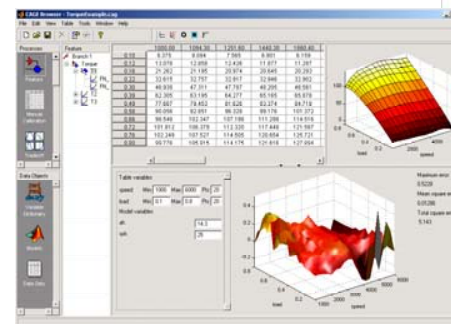
評価試験



ECUのモデル化



適合





# 医療・健康機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		18/3期 中間実績	19/3期 中間実績	前年 同期比	19/3期 中間予想	予想比
医療・健康機器事業	売上高	5,040	5,020	-0.4%	5,874	-14.5%
	売上原価	2,764	2,497	-9.7%	3,149	-20.7%
	販管費	1,423	1,868	+31.3%	1,578	+18.4%
	営業利益	853	655	-23.2%	1,147	-42.9%

## 業績のポイント

- ロシアにおいて販売代理店（AGAB社）の資産等を子会社が引き継いだ事より、同社の在庫分が連結消去により相殺されたために、売上・売上原価共に予想比マイナス  
⇒一過性のものであり、通期ベースでは業績好調により当初予想を上回る見込み
- 販管費については、前期に比べ以下の費用が発生
  - ①ロシアに新設した子会社（ADR）の費用発生（M&A費用含む）
  - ②医療機器事業において事業部制を敷いて体制の強化を行った事による先行投資
  - ③ADCHの連結対象期間の変更（6ヶ月⇒9ヶ月）

## 医療・健康機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製品種別	18 / 3 期中間実績	19 / 3 期中間実績	前年同期比	19 / 3 期中間予想	予想比
医療機器	1,190	861	-27.6%	1,201	-28.3%
健康機器	3,849	4,159	+8.1%	4,673	-11.0%
売上合計	5,040	5,020	-0.4%	5,874	-14.5%

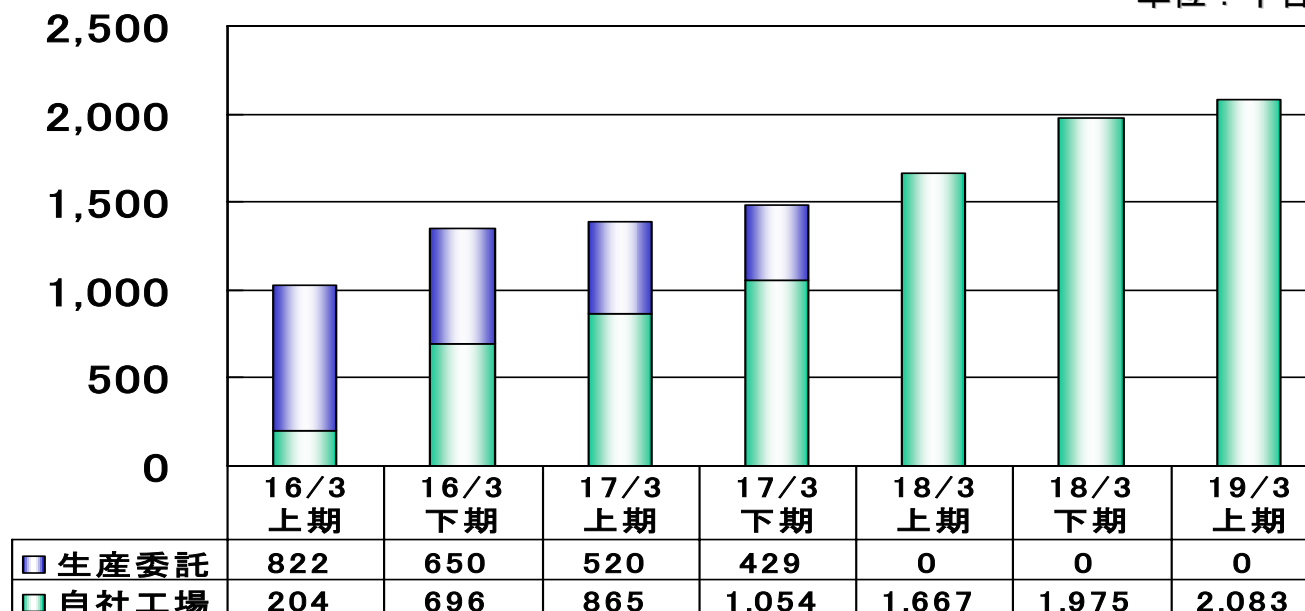
**医療機器**：メディカル計量が好調だが、全自動血圧計・ベッドサイドモニターが不調

**健康機器**：・ロシアとともに北米での販売も順調に伸長

- ・ロシアにおいて販売代理店（AGAB社）の資産等を子会社が引き継いだ事より、同社の在庫分が連結消去により相殺されたために予想比マイナス

## 中国における家庭用血圧計の生産状況

単位：千台



### 中国の生産工場移転について

受注増に対応するために、工場を移転して生産能力を高める予定

増産能力 40%増（この結果、年間生産能力は500万台体制に）

完了日時 平成18年12月

## 家庭用血圧計について-2



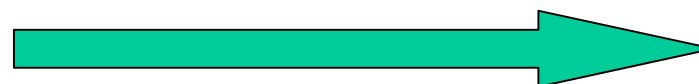
### ロシアにおける販売体制の見直し

ロシア⇒家庭用血圧計の市場が拡大する中、当社業績も順調に成長

資産等を取得（今年9月）

AGAB COMPANY

ロシアにおける家庭用  
血圧計の販売代理店



A&D RUS CO., LTD.

ロシアに設立した当社  
子会社

当社主体でロシアでの事業を推進することが可能となり、今後は、積極的な営業展開により更なる市場拡大と収益向上を図る



ロシアで当社が「Health Idea Award 2006」（注）の「Brand of the Year」を受賞

（注）Health Idea Award 2006  
ロシアにおける健康と生活の質の向上に関する国家的な賞として本年より制定



# 財務分析（貸借対照表）



## ■ 貸借対照表分析

（単位：百万円）

連結貸借対照表	18/3期末	19/3期中	前期比	コメント
流動資産合計	27,833	30,752	+10.5%	受取手形+1,758、たな卸資産+1,702、繰延税金資産+390、売掛金△897
固定資産合計	10,955	13,282	+21.2%	有形固定資産+212、無形固定資産+2,186（内商標権等+2,218）、投資その他△73
資産合計	38,787	44,033	+13.5%	
負債合計	21,332	26,116	+22.4%	長・短期借入金+3,848、支払手形及び買掛金+1,271、社債△500
少数株主持分	56	-	-	会社法の施行により資本に計上
資本合計	17,399	17,918	+3.0%	
負債及び資本合計	38,787	44,033	+13.5%	

# 財務分析（キャッシュフロー）



## ■ キャッシュフロー分析

（単位：百万円）

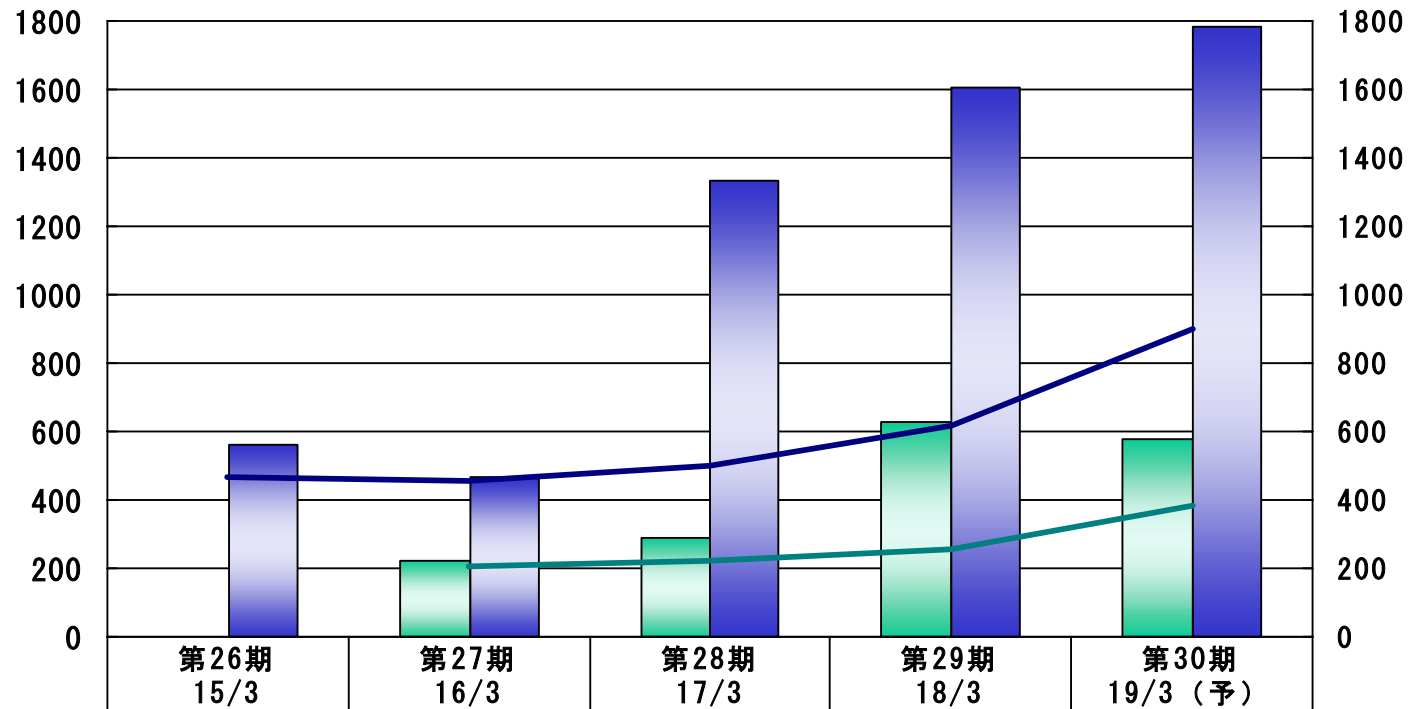
連結キャッシュフロー	18 / 3 期中	19 / 3 期中	コメント
営業活動によるCF	789	△266	税前当期純利益+884、減価償却費+606、仕入債務の増加+1,225、たな卸資産の増加△1,629、売上債権の増加△814、法人税等の支払い△829
投資活動によるCF	△2,674	△3,027	有形固定資産の取得△586 無形固定資産の取得△2,385
財務活動によるCF	1,184	3,254	長・短期借入金の増加+3,822、社債の償還△500
現金及び現金同等物の増加額	△674	△9	
現金及び現金同等物の期末残高	2,965	4,966	

# 設備投資・減価償却費の推移



(単位：百万円)

(単位：百万円)

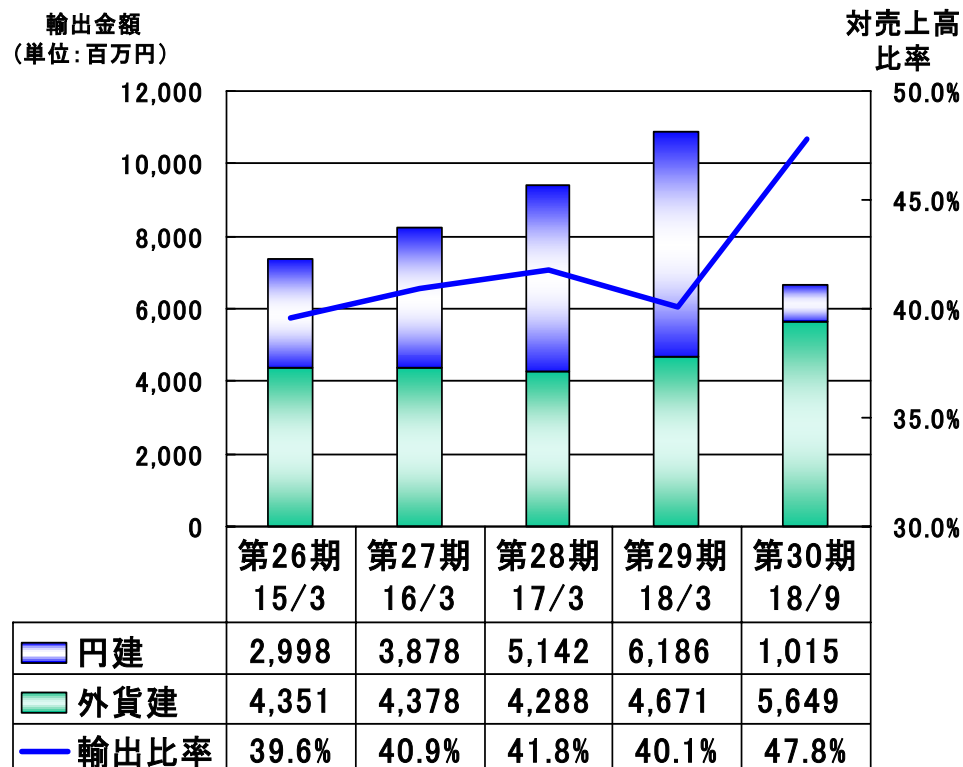


■ 中間期設備投資		224	290	628	580
■ 通期設備投資	561	466	1,335	1,608	1,783
— 中間期減価償却費		206	223	254	384
— 通期減価償却費	467	456	502	619	900

今期の設備投資は、開発・技術センターにおける第3実験棟の建設を主因に増加



## 輸出の状況



## 19年3月期中間期の外貨建て取引の状況

通貨 (千単位)

区分		通貨		
		ドル	ユーロ	オーストラリアドル
フロー	販売	48,095	2,964	1,487
	仕入	44,849	1	1,104
	差額	3,246	2,963	383
ストック	債権	50,299	1,340	597
	債務	12,788	0	139
	差額	37,511	1,340	458

※A & D 単体での状況です

# 19年3月期通期見通し



(単位：百万円)

連 結 損 益	18 / 3 期 通 期 実 績	19 / 3 期 通 期 見 通	前 期 比	コ メ ン ト
売 上 高	31,226	34,567	+10.7%	新規事業と家庭用血圧計 を主軸に増収
売 上 原 価	18,039	18,224	+1.0%	ADRの売上増加等による粗 利益率の向上
販売費及び一般管 理 費	9,839	12,231	+24.3%	ADT及びADRの費用が発生
営 業 利 益	3,348	4,113	+22.8%	
経 常 利 益	3,192	3,871	+21.3%	
税 引 き 前 利 益	3,156	3,869	+22.6%	
当 期 純 利 益	1,936	2,544	+31.4%	
1 株 当 た り 利 益 ( 円 )	89.73	114.63	+27.7%	

# 計測・計量機器事業 見通しー1



(単位：百万円)

セグメント	18/3期 (実績)	19/3期		前期比		
		中間実績	下期見通			
計測・計量機器事業	売上高	19,776	9,668	11,480	21,147	+6.9%
	売上原価	11,660	5,424	6,454	11,879	+1.9%
	販管費	5,786	3,446	3,352	6,799	+17.5%
	営業利益	2,330	797	1,673	2,470	+6.0%

## 1. 売上

DSP事業と堅調な計量機器事業を中心として売上増加を図る

## 2. 売上原価

DSP事業の伸長とコスト低減の取組みにより利益率の向上を見込む

## 3. 販管費

- ・ ADTの費用が通期で発生
- ・ 開発費の増加

# 計測・計量機器事業 見通し-2



(単位：百万円)

製品種別	19/3期 中間実績	19/3期 下期見通	18/3期 下期実績	前期比	19/3期 通期見通	前期比
計測機器	818	908	925	-1.8%	1,727	-6.2%
計量機器	5,426	6,034	5,477	+10.2%	11,460	+7.6%
計測・制御・シミュレーションシステム (DSP)	2,056	3,268	3,347	-2.4%	5,324	+16.2%
電子ビーム関連ユニット	1,367	1,270	1,416	-10.3%	2,637	-2.4%
売上合計	9,668	11,480	11,165	+2.8%	21,147	+6.9%

**計測機器**

: 引張試験機の新製品 (RTF/Gシリーズ) 拡販に注力

**計量機器**

: 新製品の販売開始、計量システムの販売量アップを図る

**DSP**

: IAV社との協業による優位性をアピールし、ADTとの統合効果の早期実現を目指す

**電子ビーム関連ユニット**: 受注案件の確実な納品を図る

# 医療・健康機器事業 見通しー1



(単位：百万円)

セグメント	18/3期 (実績)	19/3期		前期比		
		中間実績	下期見通			
医療・健康機器事業	売上高	11,450	5,020	8,401	13,420	+17.2%
	売上原価	6,379	2,497	3,848	6,345	-0.5%
	販管費	3,002	1,868	2,385	4,253	+41.7%
	営業利益	2,069	655	2,168	2,822	+36.4%

## 1. 売上

- ・ 家庭用血圧計が引き続き好調
- ・ ロシアでのM&Aにより増加

## 2. 売上原価

部品の内製化によるコストダウンを実現

## 3. 販管費

- ・ 下期はADRの販管費の負担が加わる
- ・ 医療機器事業において販売体制の強化費用が発生

## 医療・健康機器事業 見通しー2



(単位：百万円)

製品種別	19/3期中間実績	19/3期下期見通	18/3期下期実績	前期比	19/3期通期見通	前期比
医療機器	861	1,575	1,505	+4.7%	2,436	-9.6%
健康機器	4,159	6,826	4,905	+39.2%	10,985	+25.5%
売上合計	5,020	8,401	6,410	+31.1%	13,420	+17.2%

**医療機器**：販売体制の強化を継続し、下期に挽回を図る

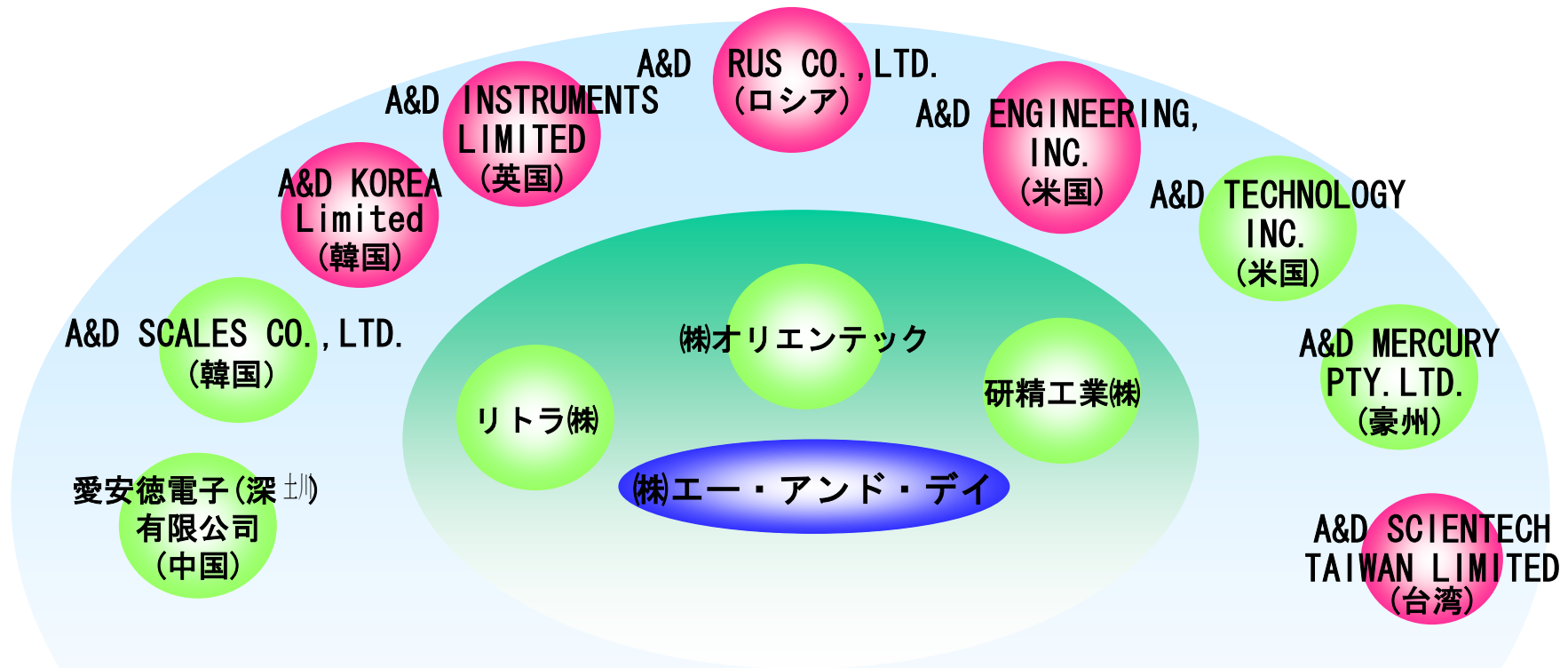
**健康機器**：・家庭用血圧計がロシアを中心に引き続き好調を維持

・ロシア子会社における販売代理店の買収効果により増収



- 1 グループの概要
- 2 I A V社の概要
- 3 開発の状況
- 4 20年3月期（来期）の連結経営計画



# グループの概要



A & Dは開発および販売を中心に活動  
生産主体は国内外関係会社  
海外販売は関係会社経由と直販を併用

-  生産・開発関係会社
-  販売関係会社

## IAV社の概要



社 名：IAV GmbH

本 社：ベルリン（ドイツ）

事業内容：自動車エレクトロニクス、エンジン、駆動システム等の  
開発・設計

売 上 高：2億3500万ユーロ（2004年度352億2650万円）

従 業 員：2600名

主な取引先：フォルクスワーゲン、ダイムラー・クライスラー、BMW、  
フォード、GM、オペル、FIAT、ルノー、ボルボ、  
ボッシュ、シーメンス他



# 開発の状況



社内資源の多くを開発に投入し、  
各事業分野で継続して開発を実施。

(平成18年9月末/A & D単体)

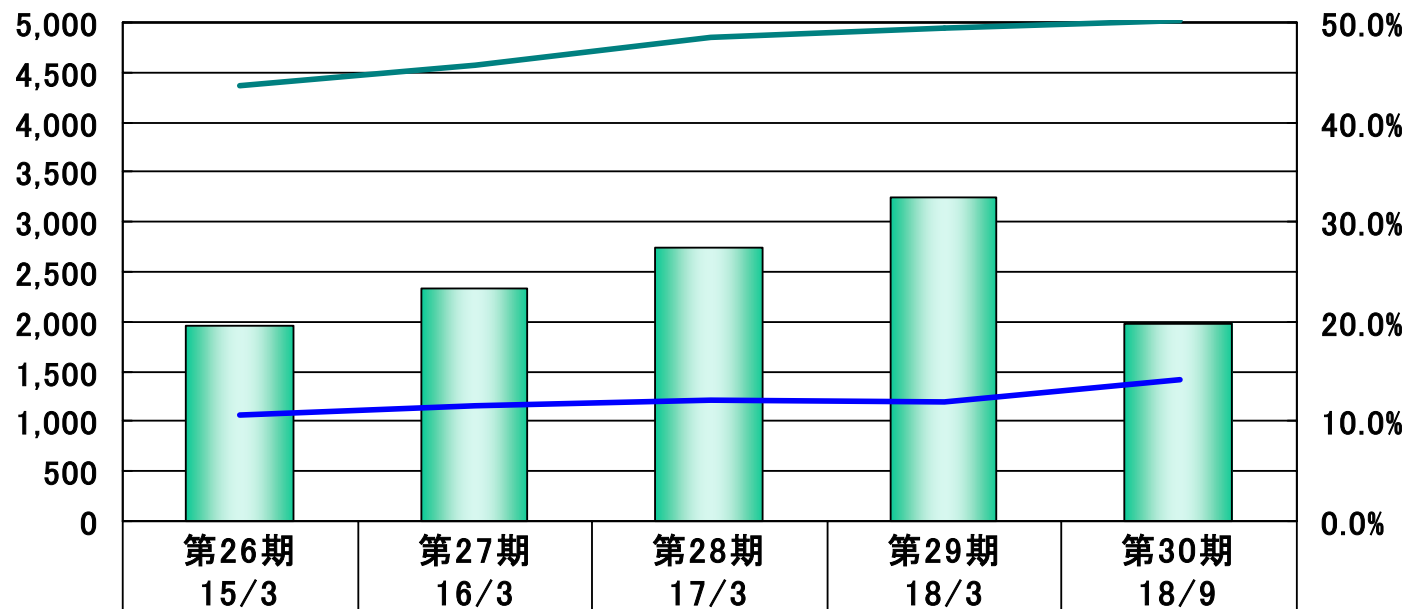
既存事業 168名 (55.8%)

新規事業 133名 (44.2%)

合計 301名 比率

研究開発費  
(単位:百万円)

※A & D単  
体での状況



研究開発費	1,963	2,337	2,741	3,254	1,974
売上高比率	10.6%	11.6%	12.2%	12.0%	14.1%
開発人員比率	43.6%	45.8%	48.6%	49.4%	50.1%

## 20年3月期(来期)の連結経営計画



(単位：百万円)

	20 / 3期 通期計画
売上高	43,000
経常利益	7,100
純利益	4,400

(注) 上記計画は、10月17日付の「業績予想の修正について」にて発表した計画であります。

**AND**  
株式会社 **エー・アンド・ティ**